

事業計画及び予算

平成28年2月26日開催の第191回組合会で、平成28年度事業計画及び予算が議決されました。

今年度は、短期経理において、高齢者医療制度に対する支援金や拠出金が前年度より約5億6千万円余り減額となったことから、2年連続で全国連合会の財政支援を受けない予算となりました。

しかしながら、組合員数の減少及び標準報酬制への移行に伴う掛金・負担金の減収、また社会経済情勢などの影響から、短期経理の介護保険、業務経理、保健経理、貸付経理の4経理で当期損失金が見込まれますので、引き続き諸経費の削減を図ることとしております。



●組合員数

(単位:人)

組合員種別	平成27年度末推計
一般組合員	12,708
一般職	45
特別職	20
市町村長組合員	1,689
特定消防組合員	2
長期組合員(特別職)	0
市町村長長期組合員	14
船員一般組合員	0
継続長期組合員	14,478
小計	250
任意継続組合員	14,728
合計	

●所属所数

市	町	一部事務組合等	計
11	9	21	41

●各経理の収支推計

(単位:千円)

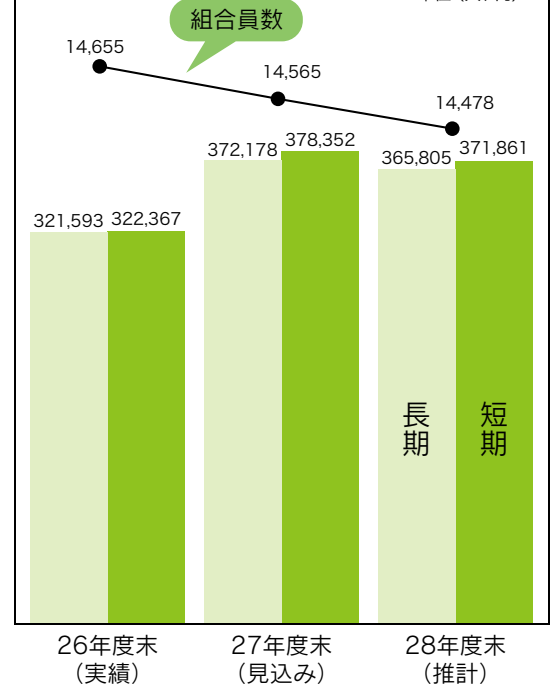
区分	収入	支出	当期利益金 (△当期損失金)
短期経理	9,444,848	9,351,482	93,366
	782,016	795,055	△ 13,039
厚生年金保険経理	18,631,698	18,631,698	0
退職等年金経理	1,245,502	1,245,502	0
経過的長期経理	147,789	147,789	0
経過的長期預託金管理経理	90,955	90,955	0
業務経理	273,069	273,265	△ 196
保健経理	387,808	404,699	△ 16,891
	7,647	7,647	0
宿泊経理	157,309	156,565	744
貯金経理	691,269	586,258	105,011
貸付経理	109,362	114,977	△ 5,615
物資経理	11,520	11,377	143
合計	31,980,792	31,817,269	163,523

※短期経理の欄の上段は医療保険、下段は介護保険の収支を示す。

※保健経理の欄の上段は保健事業、下段はメンタルヘルス対策事業の収支を示す。

組合員数及び平均標準報酬月額推移 (任意継続組合員を除く)

単位(人、円)



※平成26年度末実績は標準報酬制移行前のため給料月額

●掛金率・負担金率及び公的負担金率等一覧表(平成28年度)

(単位: %)

区分 組合員種別	掛金率(組合員保険料率)						負担金率					
	短期		厚生年金		退職等 年金	保健	短期		厚生年金		退職等 年金	保健
	短期分	介護分	4月~	9月			短期分	介護分	4月~	9月		
一般組合員(一般職) 一般組合員(特別職) 市町村長組合員 特定消防組合員	48.99	6.2	86.39	88.16	7.5	2.0	48.99	6.2	86.39	88.16	7.5	2.0
船員一般組合員	46.57	6.2	86.39	88.16	7.5	2.0	51.41	6.2	86.39	88.16	7.5	2.0
長期組合員(特別職) 市町村長長期組合員	2.09	—	—	—	7.5	2.0	2.09	—	—	—	7.5	2.0
継続長期組合員	—	—	86.39	88.16	7.5	—	—	—	86.39	88.16	7.5	—

区分 組合員種別	特別財政調整 負担金率	育児・介護 公的負担金率	基礎年金拠出 公的負担金率	経過的長期経理 公的負担金率
一般組合員(一般職) 一般組合員(特別職) 市町村長組合員 特定消防組合員 船員一般組合員	0.2	0.31	37.7	0.187
長期組合員(特別職) 市町村長長期組合員	—	—	—	—
継続長期組合員	—	—	—	—

※ は4月1日から変更になった部分

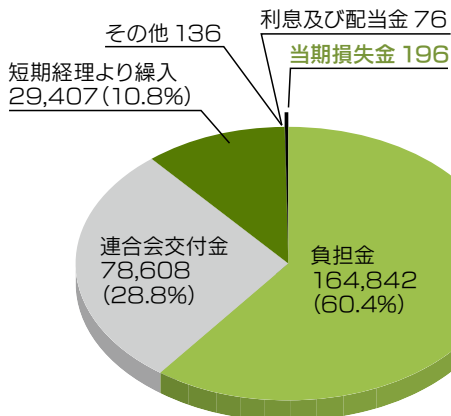
業務経理

この経理では、短期給付及び長期給付事業を行うための人件費、事務に要する費用を賄っています。

収入面では、地方公共団体の事務費負担金は、組合員1人当たり年額1万1016円(短期分6118円、長期分4898円)となり、また、事務費として短期経理から業務経理へ組合員1人当たり2030円繰り入れます。

なお、全国連合会に、事務費負担金(長期分)と、連合会分担金(短期分)を払い込みますが、地方公務員共済組合連合会及び全国連合会の事務費を除いた額が、連合会交付金として組合員1人当たり4863円交付されます。

支出面では、被用者年金の一元化及びマイナンバー制度の施行に伴う事務費及び情報セキュリティ対策費用の発生により大変厳しい状況ではありますが、引き続き事務処理の効率化に努め、一層の経費節減を図ってまいります

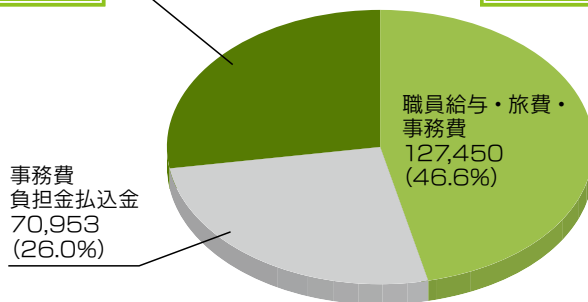


()内は収入に占める割合

収入
273,069
(単位: 千円)

その他
(委託費・賃借料・普及費など)
74,862 (27.4%)

支出
273,265
(単位: 千円)



()内は支出に占める割合

短期経理

この経理では、組合員及びその被扶養者の医療に係る給付、出産・休業・災害などに係る給付及び介護保険制度の運営に必要な資金の収納及び納付を行っています。

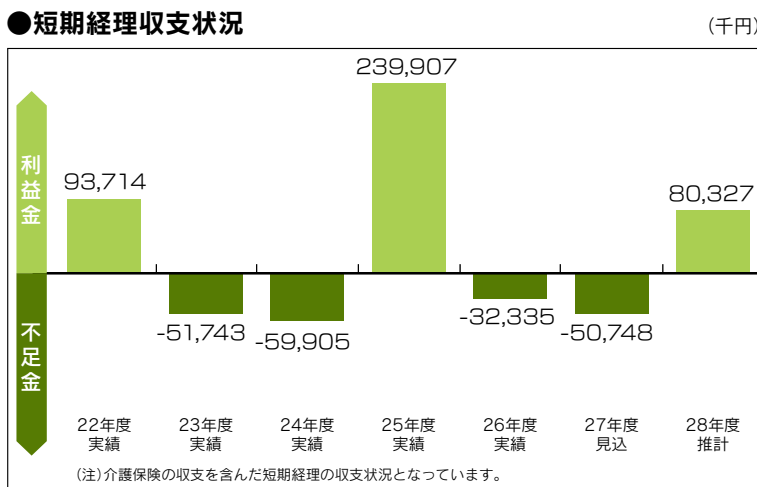
【短期給付関係】

医療費や出産費などの保健給付は39億6290万円となり、前年度より2700万円の増加となる見込みです。一方で高齢者医療制度に対する納付金等の総額は、36億8860万円となり、前年度見込額より5億6110万円の大幅な減少となる見込みですが、なお短期給付に係る支出の36%を占めています。

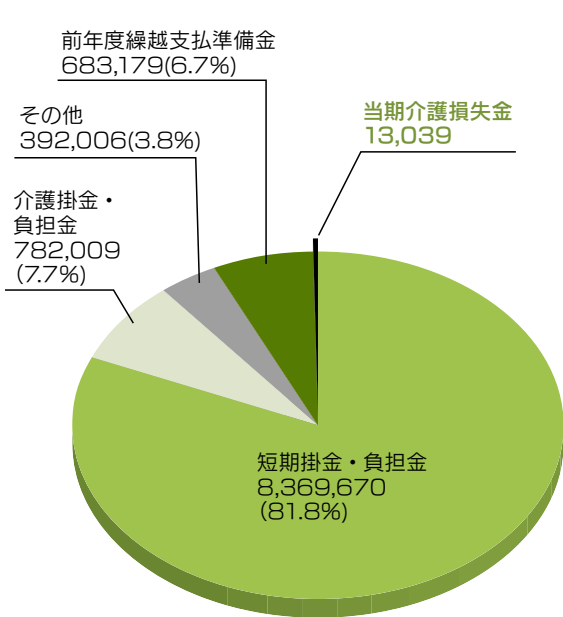
この納付金等の大幅な減少などにより、財源率は、前年度より2・82%の引き下げで97・98%となり、このうち高齢者医療制度の支援に要する財源率(特定保険料率)は、43・32%となります。

このような状況から25・26年度に全国連合会から受けていた財政支援(調整交付金及び特別調整交付金)を、今年度も受けたい予算となりました。
※短期財源率については、11Pをご覧ください。

●短期経理収支状況

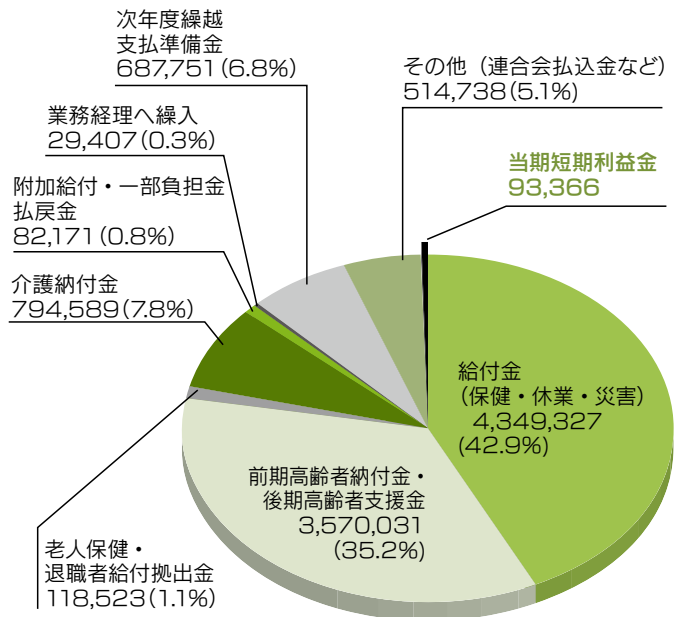


【介護保険関係】
介護保険については、40歳以上65歳未満の組合員について、共済組合が保険料を収納し、社会保険診療報酬支払基金に納付しています。
今年度は、介護給付費の増加により介護納付金が前年度よりも2910万円増の7億9460万円となる見込みです。
このため財源率は、前年度より0・4%引き上げて12・40%となります。



収入
10,226,864
(単位：千円)

()内は収入に占める割合



支出
10,146,537
(単位：千円)

()内は支出に占める割合

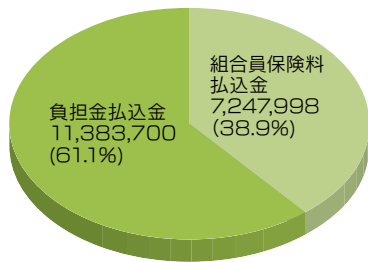
厚生年金保険経理

この経理では、平成27年10月からの被用者年金一元化以降、厚生年金給付等の原資となる組合員保険料・負担金（保険料）を収納し、全国連合会へ全額納付しています。

平成27年10月から財源率は172・78%、組合員の保険料率は86・39%、平成28年10月からの財源率は176・32%、組合員の保険料率は88・16%になります。

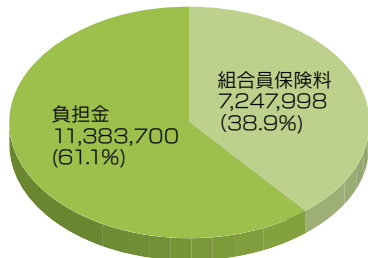
支出
18,631,698
(単位：千円)

()内は支出に占める割合



収入
18,631,698
(単位：千円)

()内は収入に占める割合



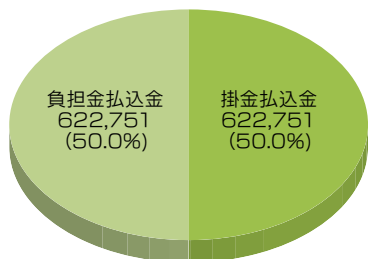
退職等年金経理

この経理では、平成27年10月からの被用者年金一元化以降、職域年金部分廃止後の新たな年金として創設された退職等年金給付及び平成27年10月以後の公務障害給付・公務遺族給付の原資となる掛金・負担金を収納し、全国連合会へ全額納付しています。

平成27年10月から財源率は15%、組合員の掛金率は7・5%です。

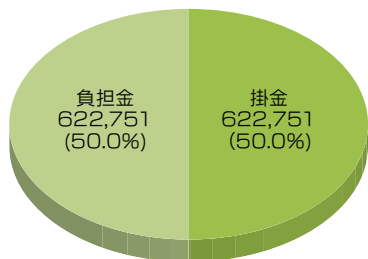
支出
1,245,502
(単位：千円)

()内は支出に占める割合



収入
1,245,502
(単位：千円)

()内は収入に占める割合



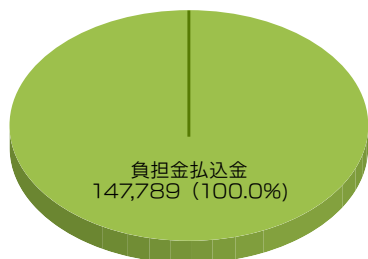
経過的長期経理

この経理では、平成27年10月からの被用者年金一元化以降、それ以前の共済年金の旧職域年金部分の給付、既裁定公務障害給付及び公務遺族給付の原資となる負担金を収納し、全国連合会へ全額納付しています。

今年度の財源率は0・187%で、組合員の負担はありません。

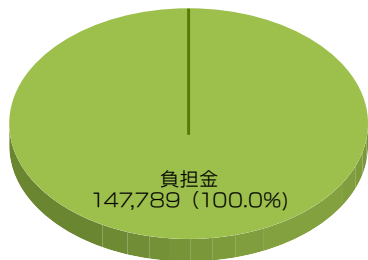
支出
147,789
(単位：千円)

()内は支出に占める割合



収入
147,789
(単位：千円)

()内は収入に占める割合



保健経理

この経理では、組合員及び被扶養者の健康の保持・増進のため、人間ドック等の利用助成、特定健康診査・特定保健指導、データヘルス事業等を行っています。

今年度は、平成27年10月からの標準報酬制への移行に伴い、掛金・負担金が大幅な減収となり、安定的な事業の継続を図ることとして、人間ドック等利用助成の助成金額を2000円引き下げ、2万5000円としました。

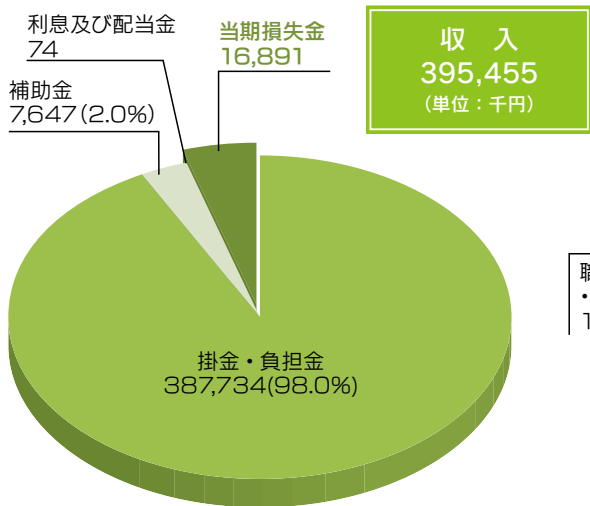
人間ドック等利用助成などの保健関係及びえひめ共済会館利用助成などの保養関係等、保健事業に要する費用は、前年度より1840万円減の3億360万円を見込んでおります。

特定健康診査・特定保健指導については、引き続き保健師が所属所にお伺いし、保健指導対象者の生活習慣病予防に対する意識の向上及び健康状態の改善に努めます。

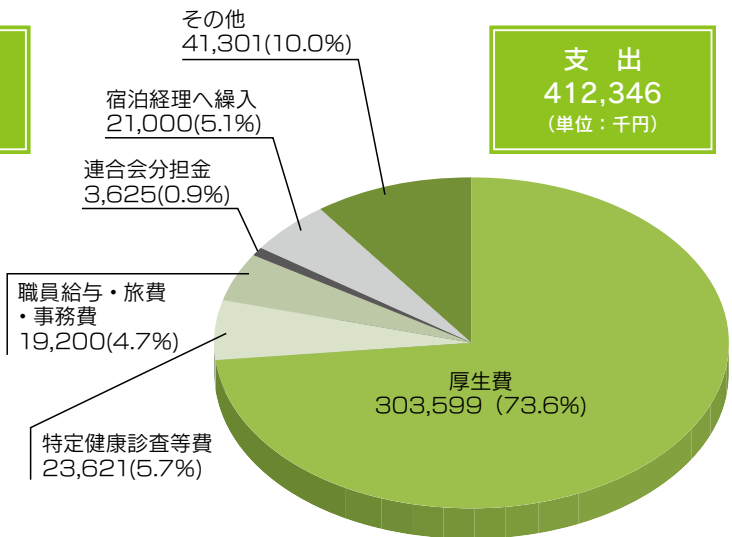
今年度からは、データヘルス事業として、特定健康診査・特定保健指導の対象外となっている39歳以下の組合員に対して、レセプトや人間ドック等の健診情報等を分析し、受診勧奨や保健指導を行います。

なお、平成24年度から実施している県・市町連携によるメンタルヘルス対策事業については、今年度も構成団体からの補助金により実施いたします。

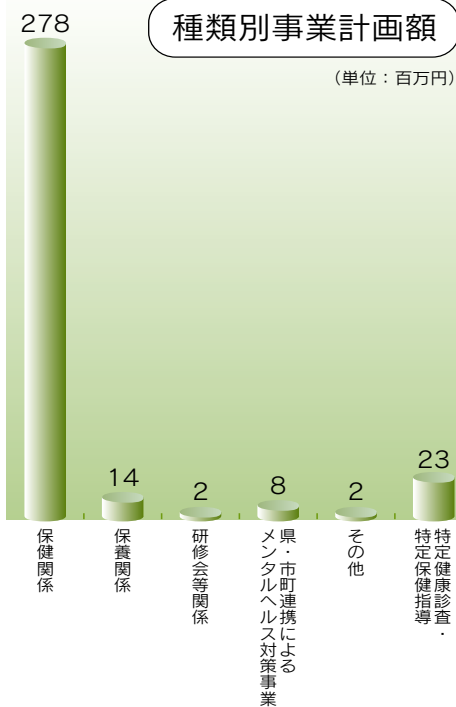
※人間ドック等利用助成の助成額の変更及びデータヘルス計画関連事業については、18Pをご覧ください。



()内は収入に占める割合



()内は支出に占める割合



事業の種類

保健関係	人間ドック利用助成		保 険 研 修 等 研 修 会 等 研 修 会 等	養 係 研 修 会 等	愛媛共済会館利用助成
	脳ドック利用助成	眼底検診			新婚・銀婚等利用助成
がん検診等補助	ミドック	大腸がん検診	研 修 等 研 修 会 等	研 修 会 等	福祉施設利用助成
		HbA1c			労働安全衛生業務担当者研修会
がん検診等補助	肺がん検診	デジタルCR	研 修 等 研 修 会 等	研 修 会 等	健康講習会補助
		ヘリカルCT			データヘルス事業
がん検診等補助	胃がん検診	子宮がん検診	研 修 等 研 修 会 等	研 修 会 等	電話健康・メンタルヘルス相談
		乳がん検診			県・市町連携によるメンタルヘルス対策事業
がん検診等補助	前立腺がん検診	インフルエンザ予防接種補助	研 修 等 研 修 会 等	研 修 会 等	その他
		はり・きゆう施術料助成			特定健康診査等
				特定健康診査等	特定健康診査指導

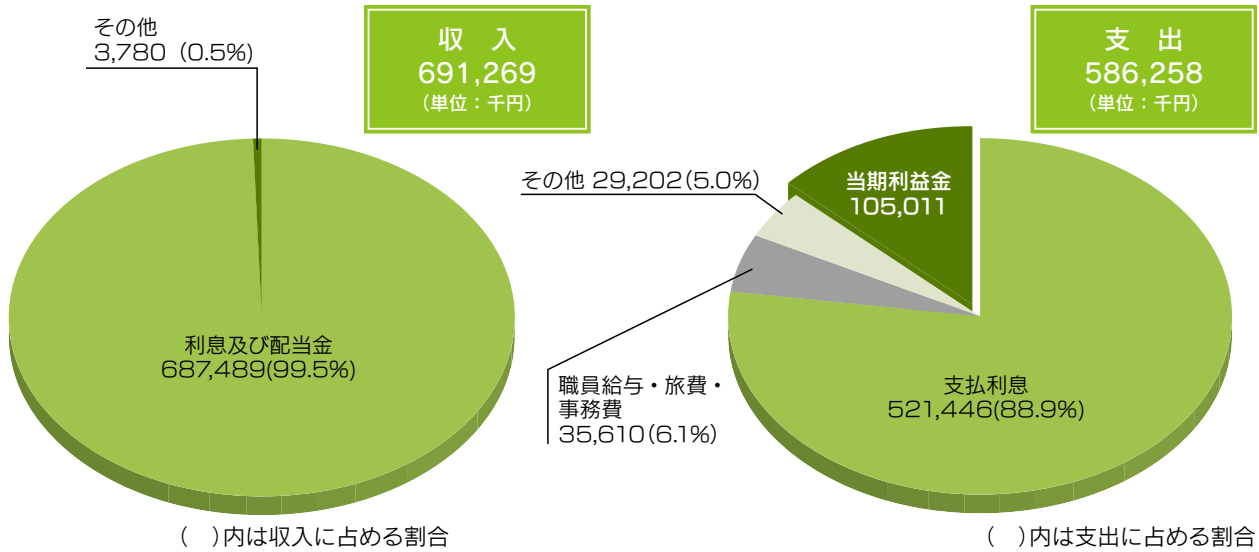
貯金経理

この経理では、組合員の皆様からお預かりした資金を安全かつ効率的に運用して、組合員の皆様の生活設計に寄与することを目的とした貯金事業を行っています。

今年度も貯金利率は1.0%とし、年度末の貯金残高は523億円、加入率は60.29%を見込んでいます。また、1人当たりの貯金額は、589万円となっています。

貯金経理の資産は、本組合で定める資金の管理・運用基準に基づき、安全第一に国債等の債券を中心として運用し、積立金の一部は物資供給事業の立替資金として物産経理に貸し付けしています。

毎月の給与又は期末勤勉手当からの控除による定例貯金のほか、専用振込用紙で金融機関の窓口から振り込む臨時増額貯金があり、ご都合に合わせて預け入れ方法で貯金できますので未加入の方は、是非ご加入ください。



貯金事業の現況 (平成28年度末推計)

貯金者数 **8,880人**

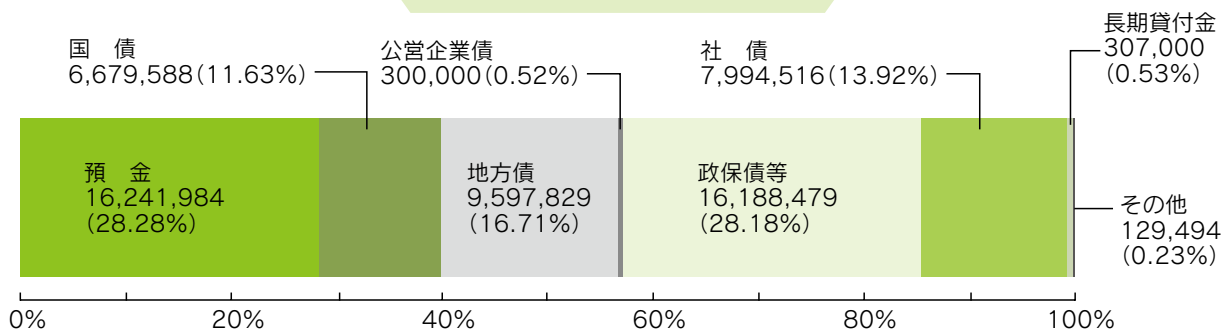
1人当たり貯金額 **589万円**

貯金額 **523億円**

加入率 **60.29%**

貯金経理の資産運用計画 (単位: 千円)

資産総額 **574億3889万円**



●平成28年度末貸付金推計

種類	件数(件)	金額(千円)	割合(%)
普通貸付	1,086	912,225	23.95
住宅貸付	884	2,386,749	62.65
在宅介護対応住宅貸付	34	52,078	1.37
災害貸付	3	17,384	0.45
特別貸付	460	439,470	11.54
高額医療貸付	1	1,000	0.03
出産貸付	1	420	0.01
合計	2,469	3,809,326	100.00

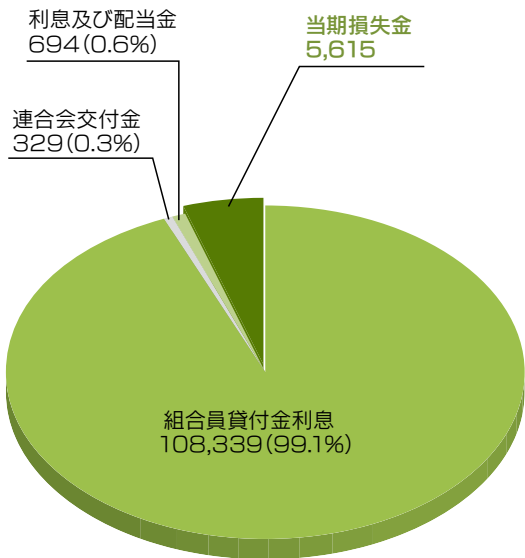
この経理では、経過的長期預託金管理経理から資金を借り入れ、組合員の皆様の住宅建設・購入資金、入学金・修学等の教育資金や自動車購入資金等の貸付けを行っています。組合員数の減少や経済情勢の変化により、貸付件数、貸付金残高ともに年々減少してきており、年度末の貸付残高は、前年度末より5億1500万円減の38億930万円となる見込みです。

なお、貸付事故(自己破産、民事再生手続など)による貸倒れが発生した場合は、全国連合会の貸付債権共同保全事業により保険金が支払われ損失分が補てんされますが、貸付事故の増加が保険料の増加につながります。財政を圧迫する要因となりますので、引き続き所属所と連携を図りながら償還能力などの事前審査を強化し、貸付事故防止に努めてまいります。

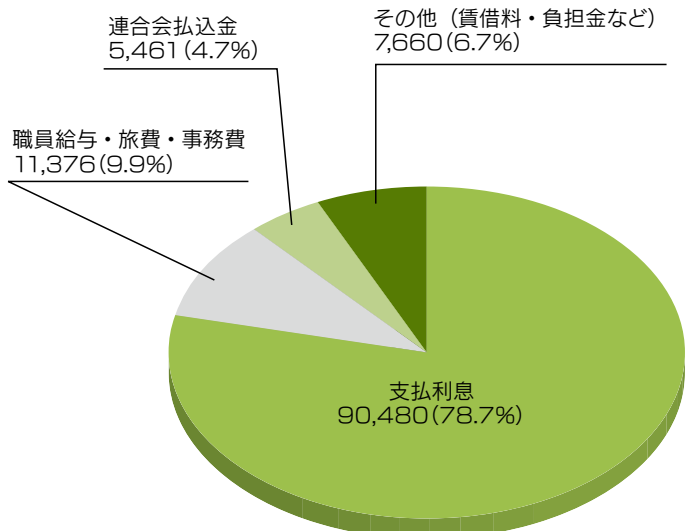
貸付経理

収入
109,362
(単位：千円)

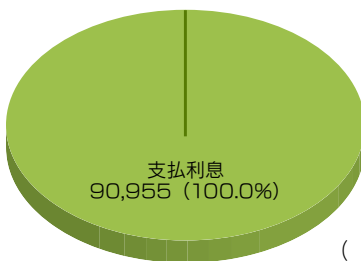
支出
114,977
(単位：千円)



()内は収入に占める割合

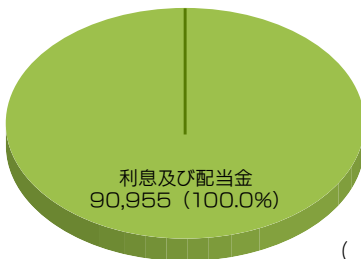


()内は支出に占める割合



()内は支出に占める割合

支出
90,955
(単位：千円)



()内は収入に占める割合

収入
90,955
(単位：千円)

この経理では、長期給付事業(年金業務)を一元的に処理している全国連合会から長期給付積立金の一部の預託を受けて、管理・運用を行っています。

年度末の預託運用額は、普通預金・定期預金での短期運用資金7210万円と、組合員に対する貸付金の資金としての貸付経理への貸付金35億400万円の合計で、35億7610万円を見込んでおり、前年度末で保有している縁故地方債は今年度で満期償還となります。

なお、運用収入9100万円は、全額を全国連合会へ支払うこととなります。

経過的長期預託金管理経理

●平成28年度事業の概要

販売品目	家庭用電気製品、家具、自動車、自転車、自動二輪車、楽器、図書、洋服、時計、貴金属、眼鏡、ミニハウス、ストックハウス、住宅附帯設備、カメラ、レジャー・スポーツ用品、寝具、健康器具、石材
販売方法	店頭・巡回・通信販売
利 潤 率	平均 0.63%
購入制限額	200万円
指定店数	141店
月賦期間	2月～60月
債務保証	官公庁等共済組合一般資金貸付保険により行う
販売見込額	137,160千円

この経理では、貯金経理から資金を借り入れ、組合員の皆様が、本組合の契約業者(指定店)から自動車等を購入する際に、購入代金を本組合が一括して立替払いする物資供給事業を行っています。

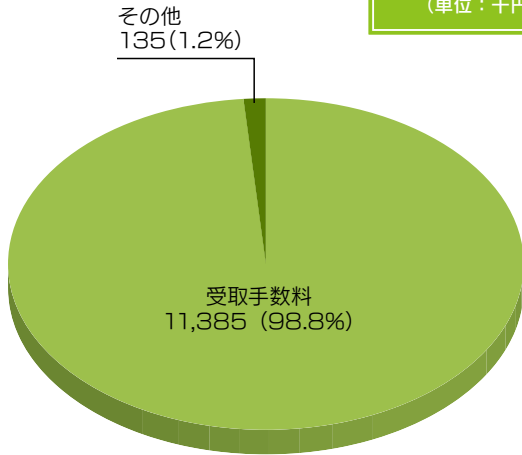
組合員数の減少等により、利用件数、利用金額ともに年々減少しておりますが、今年度は1億3720万円の販売を見込んでおり、ほぼ収支同額を見込む予算となっております。

貸付事故が発生した場合は、本組合が契約した民間損保から保険金が支払われ、損失は補てんされますが、翌年度以降の保険料の大幅な増加につながり、収支悪化の要因となりますので、物資供給事業のご利用をご検討いただいている方へ計画的なご利用をお願いするとともに、引き続き所属所と連携を図りながら貸付事故防止に努めます。

※物資供給事業のご利用方法及び契約業者(指定店)は、別冊「契約業者(指定店)名簿」をご覧ください。

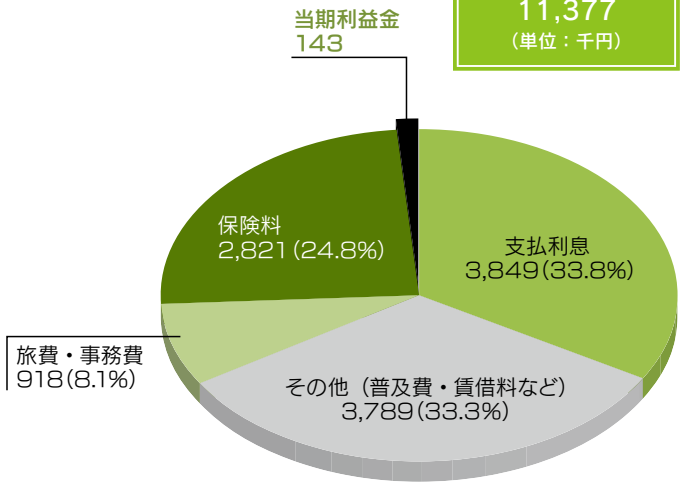
物資経理

収入
11,520
(単位：千円)



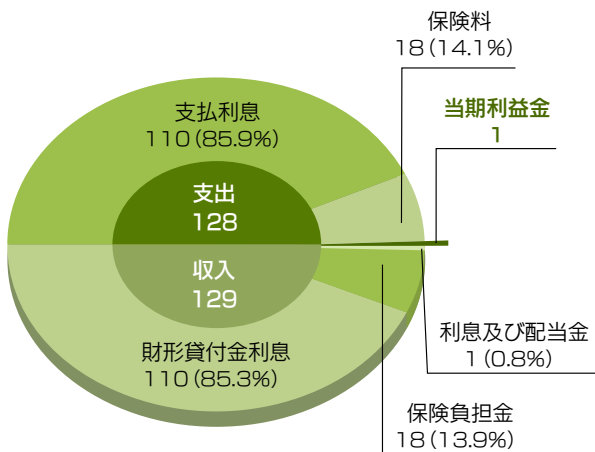
()内は収入に占める割合

支出
11,377
(単位：千円)

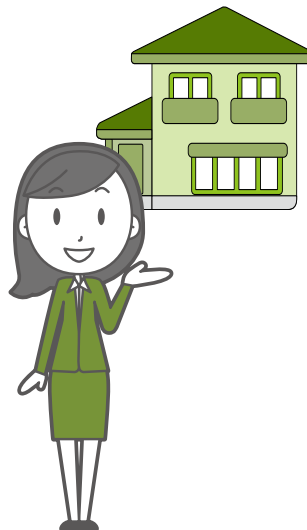


()内は支出に占める割合

財形経理



()内は支出又は収入に占める割合



この経理は、財形住宅貸付事業に係る資金の貸付を行う経理で、全国連合会から資金を調達して事業を行います。

今年度は、1800万円の借入を見込んでいます。

宿泊経理

この経理では、「えひめ共済会館」の管理・運営を行っています。

えひめ共済会館では、「安全・安心」な施設としてご利用いただくため、組合員の皆様へ一層のサービスに努めてまいります。

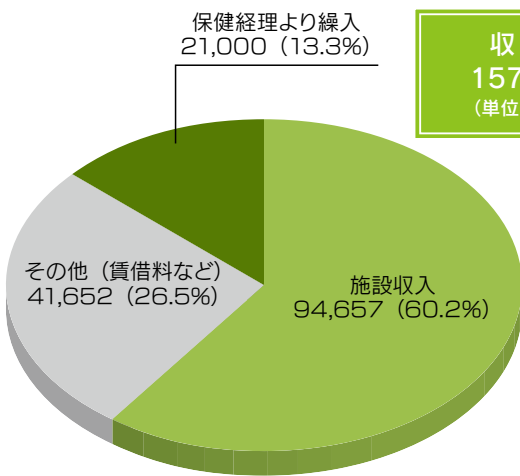
宿泊利用率75%を見込み、「ビジネスプラン」、「四季の伊予路プラン」及び「宿泊サポートプラン」などのお得な宿泊プランもご好評をいただいております。

また、7月から9月にかけては、昨年に引き続き、お食事処「旬彩伍縁」との共同企画「ビアバイキング」(※組合員割引も設定いたします)も開催する予定です。詳細は次号(平成28年7月号)にてお知らせいたします。なお、開催日限定(平成27年の設定日は3か月のうち9日)ですので、お早目のご予約をお願いいたします。

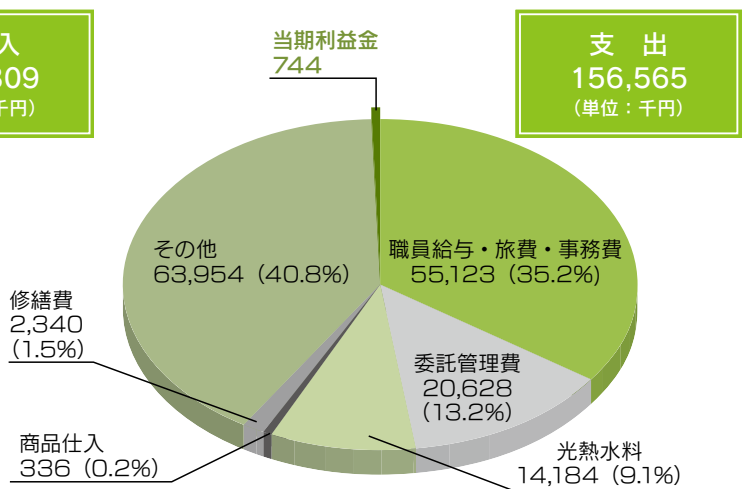
※「四季の伊予路プラン 春」が3月1日から始まっておりまして、で、本誌裏面もご覧ください。

●年間利用計画

	宿 泊	会議・宴会
利用人数	15,880人 (組合員5,272人/その他10,608人)	1,461件
年間収入	62,744千円	31,912千円



()内は収入に占める割合



()内は支出に占める割合

●えひめ共済会館宿泊料金表

客室タイプ	宿泊人数	宿泊料 (税込)
洋室シングル (バスなし)	1人	1,164円 (3,564円)
洋室シングル	1人	2,244円 (4,644円)
洋室ツイン	1人利用	3,000円 (5,400円)
	2人利用 : 1人当たり	2,028円 (4,428円)
洋室バリアフリールーム	1人利用	2,784円 (5,184円)
	2人利用 : 1人当たり	1,488円 (3,888円)
和 室 (定員2人)	1人利用	3,000円 (5,400円)
	2人利用 : 1人当たり	2,028円 (4,428円)
	3人利用 : 1人当たり	1,704円 (4,104円)

●お得なえひめ共済会館宿泊プラン

宿泊プラン	宿泊料 (税込)	内 容
ビジネスプラン	1泊朝食付 1,614円～ (4,014円)～	宿泊と朝食 (バイキング形式) をセットにしたプランです。
四季の伊予路プラン	1泊2食付 4,700円 (7,100円)	宿泊と愛媛県産の旬の食材にこだわった夕食に朝食 (バイキング形式) をセットにしたプランです。
宿泊サポートプラン	1泊2食付 2,600円 (5,000円)	学生の皆さんの各種イベントへの参加を応援するプランで、宿泊と夕食(2種類から選択)に朝食(バイキング形式)をセットにしたプランです。 ※10名様以上でご利用の小学生から大学生までが対象で、広間での宿泊利用となります。

- 備考 1 組合員、一般の料金区分はありません。
 2 宿泊料は、えひめ共済会館利用助成額(1人1泊2,400円)を控除した後の組合員(公費出張は除く。)及び被扶養者のお支払い料金です。
 3 ()内は、助成金控除前の料金です。
 4 チェックインは15時から、チェックアウトは10時です。
 5 門限はありません。